

東陽中だより

教育目標 ～明日を拓く～

・豊かな心 ・活きた知性 ・たくましい体

発行責任者 小野寺 憲治

文 責 佐々木 正道

発行日 平成29年5月30日

大きな成果を収めた修学旅行

校長 小野寺 憲治

5月11日、やや曇天の中3泊4日の修学旅行に向けて出発しました。前日には結団式を行い修学旅行の意義を再確認して臨みました。生徒たちで考えたスローガン「パズルピース～みんなで組み立てよう！最高の思い出を～」、イラストを添えて廊下に掲示してありました。

1日目、昼食は札幌ファクトリーでジンギスカン。その後、北海道四季劇場へ移動し、ミュージカル「ライオンキング」の鑑賞でした。劇場内の通路などをフル活用し迫力のある歌と踊りで観衆を魅了していました。生徒の目もそのストーリーに引き込まれ釘付けでした。鑑賞後、バスで宿泊地登別温泉へ向かいました。興奮冷めやらぬ夜でしたが、静かに眠りにつきました。

2日目、函館に向け出発。事前に計画した自主研修が始まり、朝市恒例のイカ釣り体験をしたグループは、釣り上げたイカをその場で捌いてもらい新鮮なイカ刺に舌鼓。「美味しい」と笑顔がこぼれる場面に遭遇。昼食は今や修学旅行生の定番となりつつあるラッキーピエロ。私も幾度となく修学旅行の引率をしていますが、未だ食したことはありませんでした。今回思い切って生徒達が好むハンバーガーに初挑戦。チャイニーズ…を注文。感想は今の若者の嗜好にはややついていけないものを感じました。坂本龍馬記念館や元町公園周辺、五稜郭公園へと移り、函館奉行所を復元した建物をバックに幾つかのグループの写真を撮り、ホテルへと辿り着きました。函館市内は旭川市のような基盤の目とは違い道路が入り組み、初めての街に手こずりながら、定刻にやや遅れ気味で到着したグループが多数となりました。食事後に函館山へ移動し、「世界三大夜景・100万ドルの夜景」と評される夜景を見学。見慣れているガイドさんが、「こんなに美しい夜景は見たことがない」と言う程の幻想的な光景に多くの生徒から歓声が上がっていました。

3日目、ラフティングに向けニセコへと移動。ほぼ全員が初体験。ドライスーツを着用し、尻別川上流からの川下りでした。気温が低い日でしたが川に飛び込む生徒が多数いました。多くの生徒から凄く楽しかったとの感想が聞かれました。夜は近くの公民館へ移動し、レク係による学年レクリエーションに楽しみました。

4日目、ルスツリゾートでの遊具体験。あいにくの寒さでしたが生徒にとっては寒さも何のその、ハリケーン、スペースショット、トップガンなどの乗り物に歓声と悲鳴を上げながらの挑戦でした。そして、最後の昼食「ルスツ名物：ハンバーグカレー」を食べて帰路につきました。

ここ数十年間、体験型と研修型を織り交ぜた修学旅行が定着しておりますが、学校が第一に考える事は安全安心な旅行と無事故で3泊4日を終えることにあります。多くのお子様はルールや決まりを守り、学年が定めた目標を達成し多くの成果を収めました。ただし、個々には少しの課題も見えました。全員が大きな事故や怪我もなく無事に終了できましたことに安堵の気持ちで一杯です。旅行中に毎日の反省文を見ましたが、知らない土地での見聞、友人との交流や協力関係を通して絆をより確かなものとしておりました。帰路についたバスの中では、「楽しかった」「帰りたくない」などの感想も聞かれました。

最後に、高額な経費を負担し送り出してくださいました保護者の皆様には、お子様からのおみやげ話などは、たくさんあったのでしょうか。また、経費に見合う成果があったとお考えでしょうか。今後、ご家庭でのおみやげ話や感想などを担任や学年、学校にお寄せいただけますと幸いです。

